

矢部清流学園

学校だより 6号



善遊善学

学校教育目標 あるさと矢部を愛し、未来を拓く学力と健康な体をもち、共に伸びる
児童・生徒の育成～学校地域家庭をつなぐ「協がかりの教育」の推進～

重点目標 自分の思いや考えを仲間とつなぎ、広げていく子どもの育成
～ つなごう・広げよう～

令和4年8月5日 文責 古川 志乃

「平和学習」 Pray for peace!

8月5日(金)は出校日。久しぶりに教室に仲間が集いました。夏休みの課題を提出したり、夏休みの思い出を語り合ったり…そして、それぞれの学年に応じた内容での「平和学習」を行いました。

児童生徒昇降口を入ると…新聞紙がずらっと並べられていて、たどっていくと最後に、新聞紙大の集合写真(矢部清流学園の子どもと職員が縦横に並んだ紙・1枚につき1000人程度が映し出されている)が置かれていました。それらの紙の合計は105枚。その横には、原寸大の原子爆弾の模型が置かれていました。「これは何を意味しているんだろう？」疑問に思いながら登校してくる子どもたち。そして、先生の話聞いてわかりました!

1945年8月6日午前8時15分、広島市に原子爆弾「トルボーイ」が投下されました。77年前の暑い夏の日のこと。人類史上初の核攻撃で、尊い命が一瞬にして奪われたのです。亡くなった方々の数約105,000人(被爆後数年を加えるとその数16万人を超える)を、それらの新聞紙は表していたのです。夏休み中、この「平和学習」のために前期課程の先生方が協力して、製作されたものですが、1・2年生はもとより、後期課程の生徒も、この亡くなった方々の尊い命の数を直接目にする事で、「え!? こんなにも!!」と身震いたに違いありません。



野村では、八女市平和祈念式典が開催されます。矢部清流学園のみんなで協力して作り上げた「平和を祈る千羽鶴」も、この式典で献呈されます。

8年生の栗原玲王さんは、八女市の中学生平和学習事業で8月5日～8月6日広島を訪れ(八女市内の各中学校から1名)、平和祈念式典への参加や平和記念資料館等を見学することを通して、戦争の悲惨さや命の尊さを学ぶことができます。是非、玲王さんの広島での学びを矢部のみんなにつなげ、広げてほしいと思います。

「PTA 愛校作業」への参加のお願い 8月21日(日)

8月21日(日) 8:30～10:00

※8:30に玄関前にご集合ください。

【作業場所と内容】

- ・校舎内窓拭き…善遊科児童
- ・木龍トイレ、窓のサン…5・6年とその保護者(女性)
- ・善遊棟カーテン外し…3・4年保護者(女性)
- ・校舎内トイレ掃除…3～6年以外の保護者(女性)
- ・校舎周りの草刈り…後期課程生徒、保護者(男性)



- 草刈りがま、剪定の機械、窓拭き用雑巾等、掃除に必要な道具をお持ちの方はご持参ください。
- 雨天の場合は、室内の清掃・窓拭きを行います。
- 感染症防止のため、マスク着用をお願いいたします。
- 水筒などの水分、タオル、軍手などは各自でご持参ください。
- スクールバスは運行しませんので、前期課程の子どもたちは保護者の方と一緒に登下校をお願いします。
- 集落センターの駐車場をお借りしています。車は、集落センターまたは、学童横駐車場に停めてください。



THANK YOU

児童に少しでも多く本を読んでほしいとJAふくおか八女(Aコープにおいて回収したレシートの0.1%の金額を小学校に寄贈)より、18,000円分の図書カードを寄贈いただきました。大変ありがとうございます。子どもたちの希望を聞いた上で、本を購入し、図書館に設置いたします。

